

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

- 自主・創造・共生
- 自ら学び、自ら考え、つくりだす力を育てます【知】
- お互いに認め合いながら、共に伸びていこうとする態度を育てます【徳】
- たくましい心と健やかな体を育てます【体】
- 社会とのかかわりを大切に、共に生きる態度を育てます【公】
- さまざまな変化に柔軟に対応できる力を育てます【開】

教育課程全体で  
育成を目指す資質・能力

- ・自ら学び、自ら考え、行動する力
- ・変化に対応し、創造する力
- ・他を認め、協働して課題解決をする力

具体化した資質・能力

- 自ら学び、自ら考え、つくりだす力を育てます【知】
- お互いに認め合いながら、共に伸びていこうとする態度を育てます【徳】
- たくましい心と健やかな体を育てます【体】
- 社会とのかかわりを大切に、共に生きる態度を育てます【公】
- さまざまな変化に柔軟に対応できる力を育てます【開】

中期取組目標

- 1小1中という恵まれた環境を生かして、小中連携を充実させ、併設型小中学校として、学習・生活の両面で9年間一貫した教育活動を行います。
- ・主体的・対話的で深い学びとなるように授業を改善するとともに、特別支援の考え方をもとに授業のユニバーサルデザイン化を図ります。
- ・人とかかわりの中で居場所や役割を実感させ、自尊感情や社会性を育成します。
- ・地域と連携・協働しながら、社会の一員として求められる資質・能力を育みます。

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健康教育・健康管理	①生徒の主体的な活動を取り入れながら、生徒が健康で安全な生活を意識できるようにすることで、基本的な生活習慣の定着を図る。②保健体育の授業で、単元ごとに必要となる体力を高める運動を行うことで、生徒が体力テストで把握した各自の体力の課題を意識しながら取り組めるように指導する。
担当 保健安全指導部・体育科	

健やかな体に関わる本校の状況

- ・朝食を毎日食べている生徒の割合は、市の平均とほぼ変わらない。
- ・睡眠時間は、昨年度1年生だった生徒は市の平均より多くとっている傾向がある。逆に昨年度2年生だった生徒はやや少ない傾向がある。
- ・スマートフォンやゲーム機器を使用する時間は1年生では市の平均とほぼ変わらず、2年生では使用時間は市の平均より少ない。
- ・体を動かすことが好きかという質問に対しては「好き」「やや好き」を合わせると市の平均とほぼ変わらない。
- ・体格は、全国平均並である。
- ・全身持久力、巧緻性は平均よりかなり落ちる。
- ・柔軟性は平均よりやや劣る。

今年度の目標

- ・基本的な生活習慣の定着を図り、健康で、安全な生活を実感できるようにする。
- ・生徒が個々の課題意識をもって体力づくりを行えるようにする。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間の授業開始時の準備運動において、体力づくりを全員が取り組み、体力の向上を図る。</li> <li>・家庭科では、食育との関連を図り、その大切さを考えさせ、実践する力を培うことを推進する。</li> <li>・体育祭実行委員会では、体育的行事の企画・運営をし、生徒たちの行事への参加意欲を高める。</li> <li>・一人ひとりが健康に関する課題を解決できるように、年間の健康目標をたて、月ごとに振り返ることのできる「体と心の健康カード」へ取り組む。</li> <li>・自己のストレス対処について知識を深め実践する態度を身につける。</li> <li>・保健委員会を中心として、関係機関と連携した食育教室を行い、主体的に健やかな体づくりができるようにする。</li> <li>・各部活動で、競技力、体力、学力などのバランスを考慮し、より多くの生徒が参加できる部活動の運営を図る。</li> </ul>
下半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科では、健康管理の基盤となる人の身体づくりと働きや運動について理解し、健康保持に関心を持たせるようにする。</li> <li>・地域・防災科では、自然災害に関する学習との関連を図り、災害への備えや災害発生時の行動について考え、実践する態度を身に付ける。</li> <li>・全校生徒が参加する学校保健委員会では、外部講師を招き健康課題についての講演会を実施する。また、講演会に加え、生徒の主体的な活動を取り入れ、課題について考える時間をつくる。</li> <li>・1年生対象に、救命講習会、食育教室を行い、健康安全に関する知識・行動力の向上に取り組む。</li> </ul>